

阿弥陀岳 広河原沢 3ルンゼ

【日時】 平成31年1月5日

【メンバー】 Y川 (L)、T

【概要】

曇り後雪後晴れ

前夜は立場川キャンプ場で仮眠し、6時半過ぎに舟山十字路まで入る。数台の車が停まっているが、幸い1台分空いていた。準備を整え、7時過ぎに出発する。雪は少なく、所々うっすらと残っている程度である。南稜への分岐を見送り、立場川沿いに進み1時間少して二俣に到着した。4張りほどテントがあり、一つは撤収中であった。右俣に入り、しばらく行くと両岸に氷瀑が出現し一安心する。

奥の二俣まではたいした氷瀑は無かったが、ここを過ぎるとぼちぼちと出てくる。氷結が甘い滝もあり、アイゼンを蹴り込むと良く響くためおそろおそろ登った。下降のためであろう、懸垂支点がある滝も見られた。途中、凹角チョックストーン滝は氷が少なく、13cm スクリューが入ってくれたので登れた。急なルンゼ状となり、進んで行くと左手に直瀑が見えてくる。1、2ルンゼ出合いの滝で、手前の右側に食い込んでいるのが3ルンゼである。ここで、はじめて休憩らしい休憩をとる。風が強く、雪も降っておりなかなか寒い。

3ルンゼに入ってしばらく進むと2段の氷瀑で、これを越えると奥に大滝が見えてくる。人の姿も確認でき、どうやら懸垂で下りて来ている様であった。3人パーティであり、話を聞くと大滝上の氷瀑がつながっておらず、下降するとのことであった。入れ違いに、我々は大滝に取り付く。右側が登りやすく、P社のスクリューが気持ち良く入ってくれるので安心して登れる。段の間でスクリューを決め、大滝を抜けると右手に支点が設置されていた。ここからルンゼを少し登り、5mほどの氷瀑を抜けると一旦ルンゼは広がり、奥ノ二俣に到着。先ほどの方の話のとおり、右ルンゼの直瀑は下までつながっていない。その右手のナメ滝も氷が全く付いていない。暖冬、少雪の影響は上流ほど大きいようである。ここで考えた結果、時間に余裕がないこと、P4に抜ける左ルンゼの6m直瀑で氷が無ければ越えられない可能性が高いと考えられることから、右ルンゼの滝を巻いて右ルンゼを詰め、P3基部に抜けることとする。ここで、後続2人パーティが現れた。

まず左ルンゼのナメ滝を登り、適当な所で右斜面に取り付き灌木でビレー。次は右手の斜面を上がって小尾根を越えると、右ルンゼの滝上部に無事抜けることができ、灌木でビレー。さらにザイルを伸ばしてラッセルしながらルンゼ中の灌木でビレー、次は少し左手に上がり、ナメ滝を越えて狭い溝を登り灌木でビレー。この上は斜面がひらけ、50m少しでP3ルンゼ入り口のビレー一点にちょうど到着した。P3ルンゼは全く凍っておらず、ほとんど岩が露出した状態であった。ここからは見知ったルートで、右手に上がって尾根に出た所でギアをしまう。風が強くて寒く、時間も16時前とヘッドン確実である。後続2人は、阿弥陀岳を越えて行者小屋テント泊とのこと。明るい中にP1を越えておきたかったので下山開始、立場山まで下りてヘッドランプの出番となった。下るにつれ雪が少なくなりついにはなくなってしまい、下り難かった。車には19時過ぎに帰着、ほぼ12時間の行動であったが休憩らしい休憩は少なく、余裕は無かった。

3ルンゼ自体は、色々な雪山登攀の要素が含まれているものの極端に難しい所は無く、ルーフアイも含めて考えると好ルートであると感じた。ただコースが長いので、時間には要注意であろう。

舟山十字路 7時5分発 二俣 8時11分通過 3ルンゼ入り口 11時51分～12時5分
南稜 P3基部 15時51分～16時14分 舟山十字路 19時3分



凹角チョックストーン滝



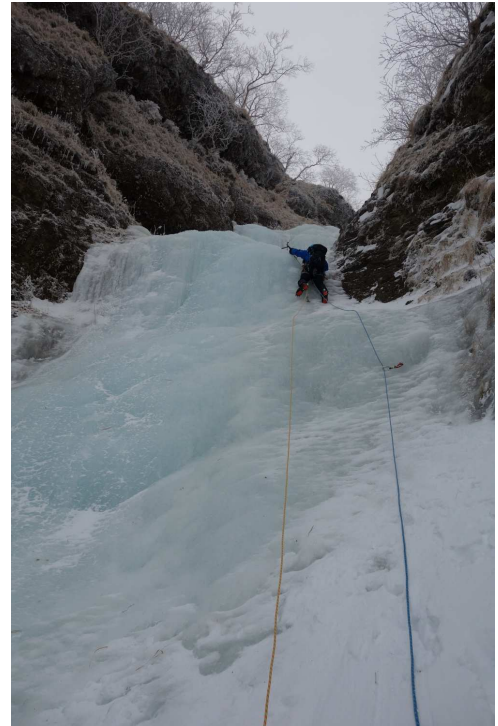
3ルンゼ入り口



3ルンゼ入り口上の滝



大滝が奥に見えてくる



大滝の登攀

